

## 資源循環型施設建設候補地に関する記者発表

日時 5/11（月）午前11時30分

丸子地域自治センター3階 第2会議室

資源循環型施設の建設候補地選定につきましては、平成19年5月25日に正副連合長会におきまして、「上田市東山地区自然運動公園隣接山林」を選定しましたが、その後、地元である下之郷自治会の反対により話し合いができない状況の中で、上田市に協力をお願いしてまいりました。しかしながら去る4月27日付けで、「下之郷の皆様に対し、理解を得る努力をしたものの、同意を得ることが困難と判断した。」との報告をいただきました。

この報告を受け、本日開催されました正副連合長会において検討をいたしました結果、地元である上田市が精力的に地元協議を行った上での報告であることから、「上田市東山地区自然運動公園隣接山林」を建設候補地として選定することを断念いたしました。

また、この結果を直ちに下之郷自治会に報告したところでございます。

建設候補地の選定以来、多くの皆様方に御協力をいただきながら鋭意進めてまいりましたが、断念という決断に至りましたことは、誠に残念なことであります。ここに、上田市や東塩田自治会連合会を始め、御協力をいただきました皆様方に改めて御礼を申し上げますところでございます。

今日に至るまで、上田市に努力をいただく中で、東塩田自治会連合会にも御理解をいただき、東塩田各自治会への説明懇談会も実施することができました。その中で、奈良尾自治会では、地域振興策のひとつとして、

施設建設の是非を研究していただきました。最終的には「施設受け入れを含めた話し合いの継続は困難」との報告が、同自治会より上田市になされましたが、自ら地域づくりに取り組まれました奈良尾自治会の皆様には心から敬意を表するところであります。

東塩田各自治会との説明懇談会では、改めて多くのご意見もお聞きすることができましたことから、今後の施設計画にも反映させられるものについては、検討をさせていただきたいと考えております。

今後の方向性につきましては、平成11年に策定されました「ごみ処理広域化計画」の再確認を行いながら、上田市からの提案も検討する中で、改めて施設の在り方等を考えてまいります。

また、現クリーンセンターの延命化にも繋がるごみ減量化につきましても、減量目標を設定し、構成各市町村において更なる減量化に取り組んでまいります。

そのほか、建設候補地の選定に向けた手法、手順等につきましても、早期に検討をし、方向を出していかなければならないと考えております。

新たな選定作業を進めるに当たり、候補地を選定し同意を得ていくことは、これまでの経過を見ても大変厳しい状況であります。次へのステップに向け一步一步進んでいく中で、必ずや展望は開けるものと確信しております。

資源循環型施設は、住民生活においてなくてはならないものであります。その点を住民の皆様にも十分ご理解いただきながら、広域連合が進める廃棄物行政に対しまして、御理解と御支援、御協力をよろしく願います。